

元気おおとよ新聞

ご意見ご感想はホームページから：<http://www.genki-otoyo.org>

発行元：特定非営利活動法人 元気おおとよ

旧穴内小学校校舎の 清掃活動を行いました



去る4月15日(火)に、「NPO法人 元気おおとよ」の会員5名およびお手伝い2名により、穴内校舎の清掃活動を実施しました。

国道32号線を豊永方面から大杉方面に車で走っていると、汚れた校舎の壁面が目につき、気になっていたのは私だけではないと思います。農作業で忙しくなる前にと、晴れた日を狙って実行に移しました。

当日は、高圧洗浄機二台をフル活動させ、二階部分から階段・一階部分ま



で、長年にわたってこびりついた苔と汚れを落としました。校舎内部も換気をしたり、床を掃除したり、今後の使い方を考えて不用品を整理しました。今はまだ、パソコン教室やミニシアターで使用するだけですが、こちらからもっともっと町民の皆さんが集える場所として改善していきたいです。



建物は建てただけでは完成ではないと思います。そこを活用して初めて、建物としての存在価値が生まれるのではないのでしょうか。(野田由美子)

「おおとよガレット」 店内販売のお知らせ!

7月より、月曜日限定でれいほくファーマーズカフェ(本山町・さくら市隣り)にて店内販売することが決定しました!



7月中の月曜日はオープン記念として、ガレットをご注文いただいた方にドリンク一杯無料サービスさせていただきます。(注・テイクアウトメニューは実施しておりません)



メニュー名



メニュー名



メニュー名



メニュー名



メニュー名

その他、週に一度は、大豊町内各所および土佐町・末広ショッピングセンターでの販売も予定しております。お楽しみに!

元気おおとよミニシアター上映予定

7月19日(土) 七人の侍

8月16日(土) オズの魔法使い

9月20日(土) 清洲会議

上映開始 13:00~、入場無料

ぜひお立ち寄りください!

裏面に つづく

ASEAN諸国の 若者との交流

5月29日～31日までの3日間 ASEAN諸国+オーストラリア、ニュージーランドの若者41人が大豊町を訪れた。これは外務省の事業で、ASEAN諸国他の青少年と日本の伝統文化の体験などを通して国際交流を深める事業で訪れた。初日は神楽や太刀踊り等の伝統文化体験を行い、山荘梶ヶ森で宿泊した。2日目は町内10家庭にホームステイをした。

私宅へはベトナム、カンボジア、ニュージーランドの17才～18才の可愛らしい娘さん3名が宿泊した。言葉が通じないので困っていたが、片言の英語でなんとかあった。3人には夕食の手伝いをしてもらい、庭でテーブルを囲みに本職を美



味しそうに楽しんだ後はギターで日本の曲を歌ったが、日本の童謡を知っていて一緒に歌った。その後、ビートルズのCDを大音量で聞きながらダンスタイムとなった。特に「イエローサブマリン」の曲には3人共大のりだった。

花火をし、次の日に行う「うどん作り体験」用のうどん生地作りを手伝ってくれた。粉をこね、足で生地を長時間踏んでくれ最後まで手伝ってくれた。おかげさんで今までで一番いい生地が出来上がった。3日目の「うどん打ち体験」には他の家にホームステイしていた若者も加わり総勢23人になった。まず童謡「ふるさと」を全員で歌い、賑やかにうどん打ちが始まった。若者全員に打ってもらい、そして切ってもらった。大きな釜で茹で釜から直接どんぶりにうどんを取り、

釜揚げうどんを全員で賑やかに食べながら交流を深めた。今までで最高の旨いうどんだった。大豊町での3日間は天気にも恵まれ、大したトラブルも無く大豊を満喫して帰った事と思います。言葉や人種、宗教は違っていても心が繋がってれば何も問題ない。みんな地球人だから。(三谷幸一郎)

「やりたい」を「できる」に

パソコン教室 生徒募集中!

毎週金曜日 19:30~21:00

1ヶ月(4回) 3,000円

お問い合わせ 080-5095-6451 (太田)



コラム 冬のヒマワリ(その3)

今回は地球温暖化に関する文献や雑誌、新聞の資料や評論をお伝えする予定でしたが、「今月号は他の記事が多いのでコラムは少なくするように」と編集担当者。そこで、このコラムの結論めいたものを紹介させていただくことにしました。

その前にちょっと紙面を拝借。朝のテレビで知り、市内に出向いた家人にコンビニで求めてもらった6月5日の毎日新聞の記事。殆ど2面を割いて地球温暖化の特集。標題の説明に、「6月5日は国連が定めた『世界環境デー』。温暖化対策の先端技術に迫った。」と述べ、①地球を人工的に「冷やす」実証実験と②気候自体を大規模に制御する研究の二つの取り組みが掲載されていた。記事のタイトルだけ紹介させていただきます。

大文字タイトル「冷やせ地球 気候を練る CON地中封入へ着々」。何とも衝撃的な題字が飛び込んできました。①については、「温暖化対策『切り札』」に続いて、「『二酸化炭素回収貯蓄』国内初 実用化へ検証進む」。ただし、「漏れ」「地震誘発」懸念も が加えられています。②については、「太陽光反射 国際研究」とあり、これも「神の領域」副作用を危惧 とありました。その他に、「進まぬ排出削減」、大学教授の評論文「問われる社会の価値観」の標題があり、実用化に意欲的な現場の声と「日本の社会は何を重視するのか、本質的な論が求められています。」の言葉が印象に残りました。

さて、本題に入ります。「はじめに言葉ありき」にならってまずはネーミングから。タイトルや表題などの名前には思いや考え、目指す方向性や理想像、さらには方法などを含んでいる場合が多くあります。我が「元氣おとよ」もそうです。そこで私の考える地球温暖化に寄せるネーミングは、

フェイス オ 地球温暖化
(フェイスIIfaceII顔)

意味は、「地球温暖化の問題を真面目から見つめる、捉える、考える、関心を持つ」ということになるでしょうか。こういった場合よく使われる「温暖化防止」や「ストップ温暖化」ではありません。良い悪いではなく当然めざす方向や考えや思いも異なってきます。後者は運動性や対峙性を連想させます。目的やめざす方向も明確ではっきりしていません。対して「フェイス オ 地球温暖化」は？。残念ながら字数オーバー。再度の「次号へ続く」です。(鄙)

編集後記

今年も早半年が過ぎました。梅雨が明ければ夏本番。元氣おとよでは、昨年、町内の子供達に大好評だった「川下りイベント」を今年も開催します。企画がまとまりしだい告知するので奮ってお申込みください！
そして本山町さくら市内のカフェで販売が始まる「おとよガレット」。食事としてもスイーツとしても楽しめる「ガレット」を、ぜひこの機会に試してみたいかがでしょうか。
それではこの夏も、暑さに負けず元氣にお過ごしください。(太田)